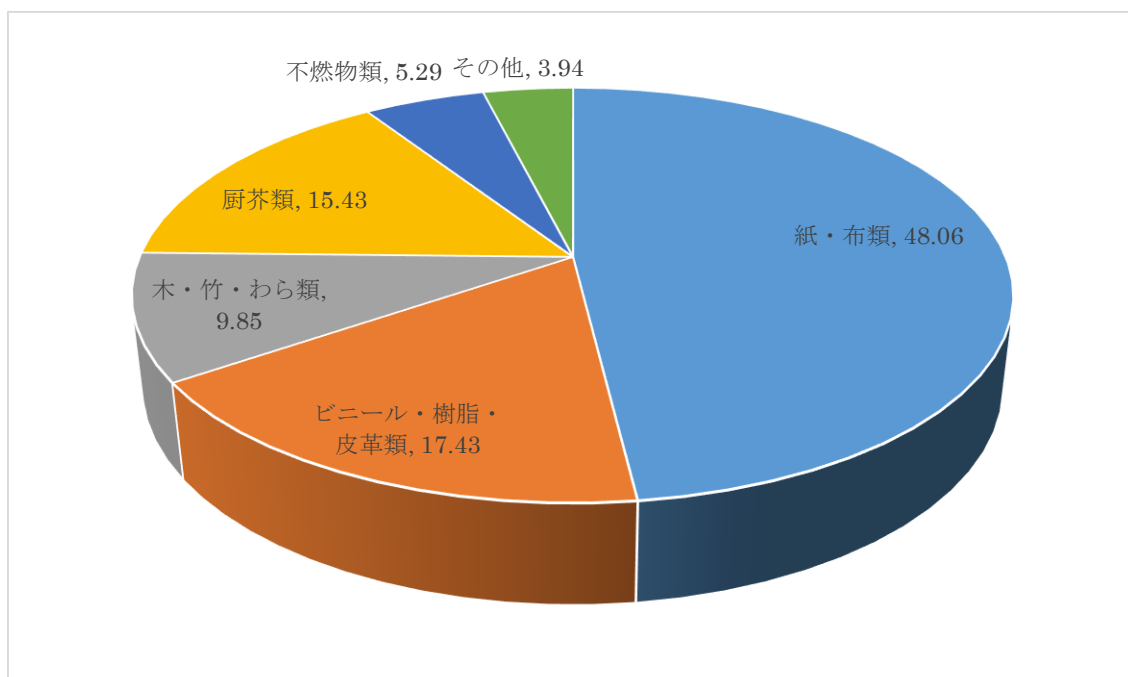


可燃ごみ減量についてのお願い



平成 26 年度 ごみ質分析の 1 年間の平均グラフ

リサイクルの森に搬入される可燃ごみのごみ質分析調査では、紙・布類が約 48%、次いでビニール・樹脂類が約 18%、厨芥類（台所から出る野菜くずなど）が約 15%含まれていました。

桑名広域清掃事業組合で資源化された紙・布類は約 31 トンでしたが、さらに可燃ごみとして捨てられた紙・布類の内、10%を‘資源ごみ’として出していただければ、約 2,100 トンの可燃ごみを減量することができます。

また、厨芥類の水分を絞ってから出していただければ、ごみの減量につながるだけでなく、ごみ袋からの汁漏れや臭いの発生を抑制するなど、衛生的にごみを処理することができます。

ごみを減らすために「紙・布類」を‘資源ごみ’として分別することや、「厨芥類」を出す前の水切りやひと絞りにご協力をお願いいたします。

住民の皆様方のご理解とご協力なしにごみを減らすことはできませんので、よろしくをお願いいたします。

桑名広域清掃事業組合資源循環センター（愛称 リサイクルの森）

〒511-0125 三重県桑名市多度町力尾 TEL0594-31-8880